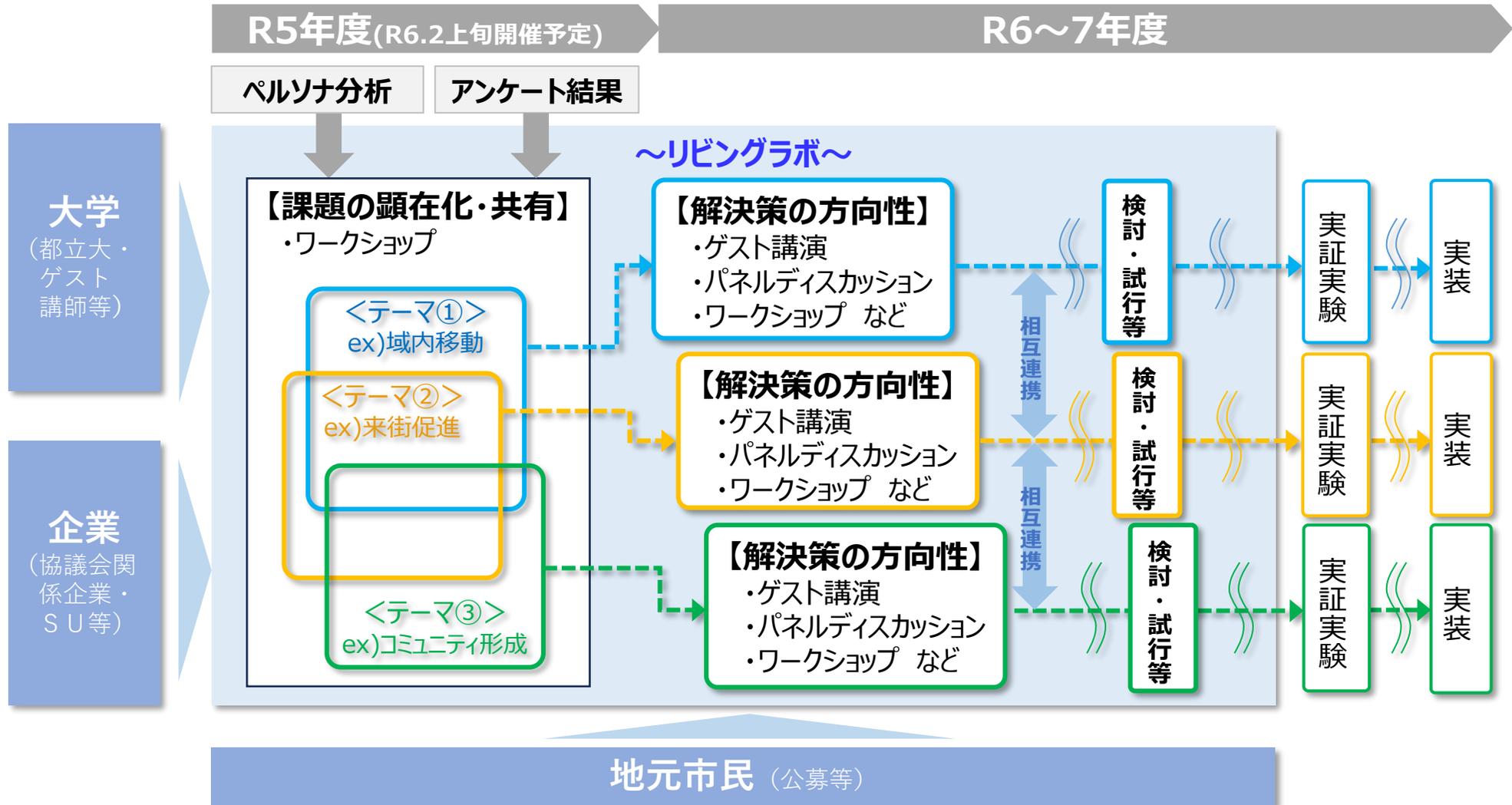


- ▶スマートシティの形成に向け、地元・企業・大学が意見やアイデアを出し合い、地域に根差したサービスを共創していくプラットフォームとしてリビングラボ「南大沢スマートシティ共創ラボ」を設置・開催
- ▶R5年度は課題等を共有し、R6年度以降は課題解決に向けテーマ等に沿って解決策を検討・試行していく



(参考) リビングラボとは

- リビングラボとは、生活の場(リビング)を実験場(ラボ)と見立て、様々な主体が参加し、ユーザー視点を取りながら、製品やサービス等を開発・共創していくオープンイノベーションの手法
- 単発のワークショップ等と違い、継続的に調査～検証のサイクルを繰り返し、当事者が主体的に課題解決に取り組んでいく仕組み

リビングラボとは

クローズドイノベーション



既存得意領域・市場

社内の技術・アイデアのみで
製品・サービス開発を遂行

企業



製品・サービス開発を社内で実践

オープンイノベーション



既存得意領域・市場 他社市場・新サービス・新技術

社内外から幅広く技術・アイデアを取り入れ、
自社では生み出せない新たな価値を創出

生活の場



生活の場とは
住宅、公園、学校、
カフェ、道路など

生活の場で製品・サービス開発を実践

リビングラボのサイクル

